

平成27年5月25日

堺 市

人権ふれあいセンター外解体工事の設計図書の訂正について（通知）

人権ふれあいセンター外解体工事の設計図書（参考内訳明細書・図面）について、下記のとおり、一部訂正しますので、お知らせいたします。

現在、堺市入札情報公開システムに掲載されている書類は訂正済みですので、再度、ダウンロードしていただくか、お持ちの書類を訂正していただきますようお願いいたします。

なお、開札予定日時、入札書の提出期間の変更はありません。

ご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

記

設計図書等の訂正箇所

<参考内訳明細書の訂正箇所>

・明細書（直接工事費） P5

「杭引抜き DCT 杭引抜工法 PC 杭 φ500 367本 総長8808m」を

「杭引抜き 引き抜き工法 PC 杭 φ500 367本 総長8808m」に訂正する。

・明細書（直接工事費） P11

「杭引抜き DCT 杭引抜工法 PC 杭 φ400-500 116本 総長1281m」を

「杭引抜き 引き抜き工法 PC 杭 φ400-500 116本 総長1281m」に訂正する。

<建築図面の訂正箇所>

・図面 S/001

『※工法は「DCT 杭引抜工法」同等以上とする。』を『※工法は引き抜き工法とする。』に訂正する。

・図面 S/027

『※工法は「DCT 杭引抜工法」同等以上とする。』を『※工法は引き抜き工法とする。』に訂正する。

各 位

堺市建築都市局建築部

参考明細書正誤表（建築編）

工事名称：人権ふれあいセンター外解体工事

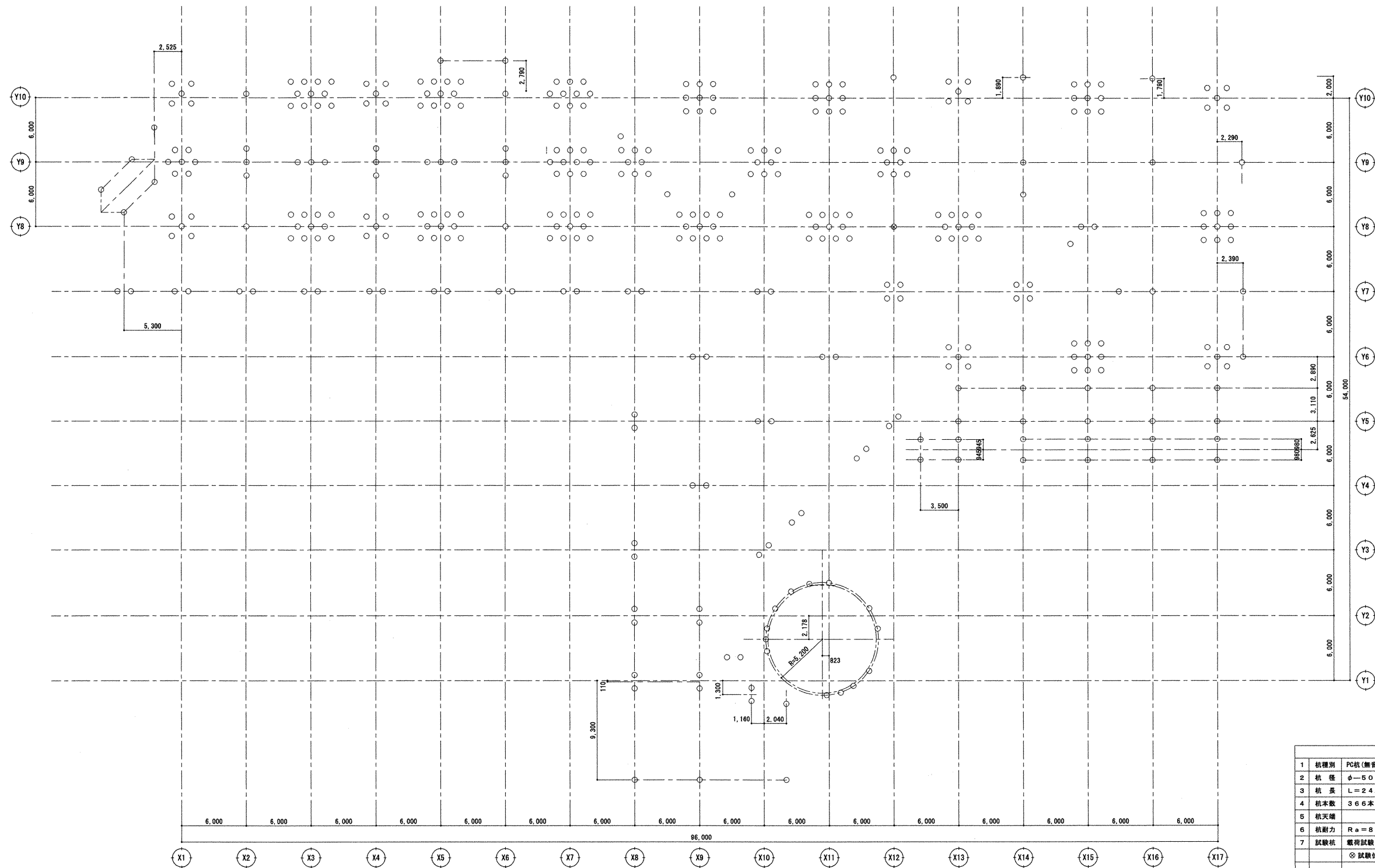
上記の件につき、下記の訂正事項がありますので、通知します。

参 考

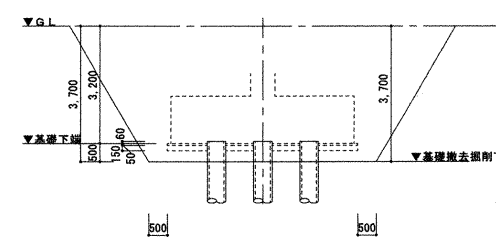
誤					正					
明細書 No.	名 称	摘 要	単位	数量	明細書 No.	名 称	摘 要	単位	数量	備 考
P5	杭引抜き	DCT杭引抜き工法			P5	杭引抜き	引き抜き工法			訂正
7行目		PC杭 φ500 367本 総長8808m	式	1	7行目		PC杭 φ500 367本 総長8808m	式	1	
直接工事費					直接工事費					
P11	杭引抜き	DCT杭引抜き工法			P11	杭引抜き	引き抜き工法			訂正
7行目		PC杭 φ400-500 116本 総長1281m	式	1	7行目		PC杭 φ400-500 116本 総長1281m	式	1	
直接工事費					直接工事費					

人権ふれあいセンター解体						
解体						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 現場均し 鉄筋分別含む ガラク積み 含む	2,224	m3			
コンクリートとりこわし	RC造 土間コンクリート 鉄筋分別含む ガラク積み 含む	92.1	m3			
コンクリートとりこわし	RC造 地上部 鉄筋分別共 発生ガラク積み共	3,731	m3			
コンクリートとりこわし	SRC造 地上部 鉄筋分別共 発生ガラク積み共	1,085	m3			
コンクリートとりこわし	捨てコンクリート ガラク積み 含む	74.7	m3			
杭孔埋戻し	ライメント 50kg/m3	1,726	m3			
杭引抜き	引き抜き工法 PC杭 φ500 367本 総長8808m	1	式			
鉄骨軸組(S造部) とりこわし	集積共	56.3	t			
【外部】						
屋上機械基礎鉄骨 とりこわし	集積共	0.5	t			
大ホール舞台上部鉄 とりこわし	ネットワーク及びすのこ鉄骨 集積共	10.2	t			
屋外鉄骨階段 とりこわし	集積共	4.4	t			
屋内鉄骨階段 とりこわし	集積共	2.8	t			
屋根 防水押えコンクリート撤 去	T=100 発生ガラク積み共	43.8	m3			
砂場 コンクリート床撤去	T=50 発生ガラク積み共	0.3	m3			
屋根 コンクリート床撤去	T=100 発生ガラク積み共	1.3	m3			
築山 コンクリート段板撤去	PC W600×T180 発生ガラク積み共	1.3	m3			
築山 コンクリート段板撤去	PC W650×T180 発生ガラク積み共	1.3	m3			
屋根 コンクリート笠木撤去	PC W300×H250 発生ガラク積み共	0.9	m3			
屋根 コンクリートホータ-撤去	PC W232×T150 発生ガラク積み共	2.6	m3			

ちぬが丘スポーツセンター解体						
解体						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリートとりこわし	RC造 基礎部 現場均し 鉄筋分別含む かゝり積込み 含む	485	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	RC造 土間コン	37.4	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	RC造 地上部 鉄筋分別共 発生かゝり積込共	451	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	PC屋根 地上部 荷下共 鉄筋分別共 発生かゝり積込共	176	m <sup>3</sup>			
コンクリートとりこわし	捨てコンクリート かゝり積込み 含む	50.9	m <sup>3</sup>			
杭孔埋戻し	ライメント 50kg/m <sup>3</sup>	206	m <sup>3</sup>			
杭引抜き	引き抜き工法 PC杭 φ400・500 116本 総長1281m	1	式			
地中障害撤去	圧砕機 大型プレート併用 現場均し 鉄筋分別含む かゝり積込み 含む	47.4	m <sup>3</sup>			
内部造作材解体 (積込み共)	工場・倉庫 発生材積込みまで含む	1,099	m <sup>2</sup>			
内装材とりこわし (アスベスト含有)	天井ボード 二重張 集積共	222	m <sup>2</sup>			
残留物集積	片袖机 4か所、カウンター 1か所 回転椅子 2か所、長椅子 1か所他 残留物撤去リスト参照(A125、126)	1	式			
産業廃棄物スクラップ 控除(マイナス単価)	鉄くず	▲1	式			
産業廃棄物スクラップ 控除(マイナス単価)	ステンレスくず	▲1	式			
産業廃棄物スクラップ 控除(マイナス単価)	アルミくず	▲1	式			
電気設備撤去		1	式			
機械設備撤去	機器	1	式			
計						



杭伏図 S=1:200



埋戻範囲図 S=1:100

※既存杭については全て引抜き撤去とする。  
 ※引抜き後、埋め戻しは全てソイルモルタルにて行う。  
 ソイルモルタルのセメント量は50kg/m<sup>3</sup>の強度とする。  
 ※施工については全て低振動・低騒音重機とする。  
 ※工法は「DCT杭引抜き工法」同等以上とする。  
 ※ソイルモルタル埋め戻し範囲は杭先端より  
 GL-2100までとする。  
 ※杭頭がGL-2100以下となる杭については掘削下端  
 まで埋め戻すものとする。

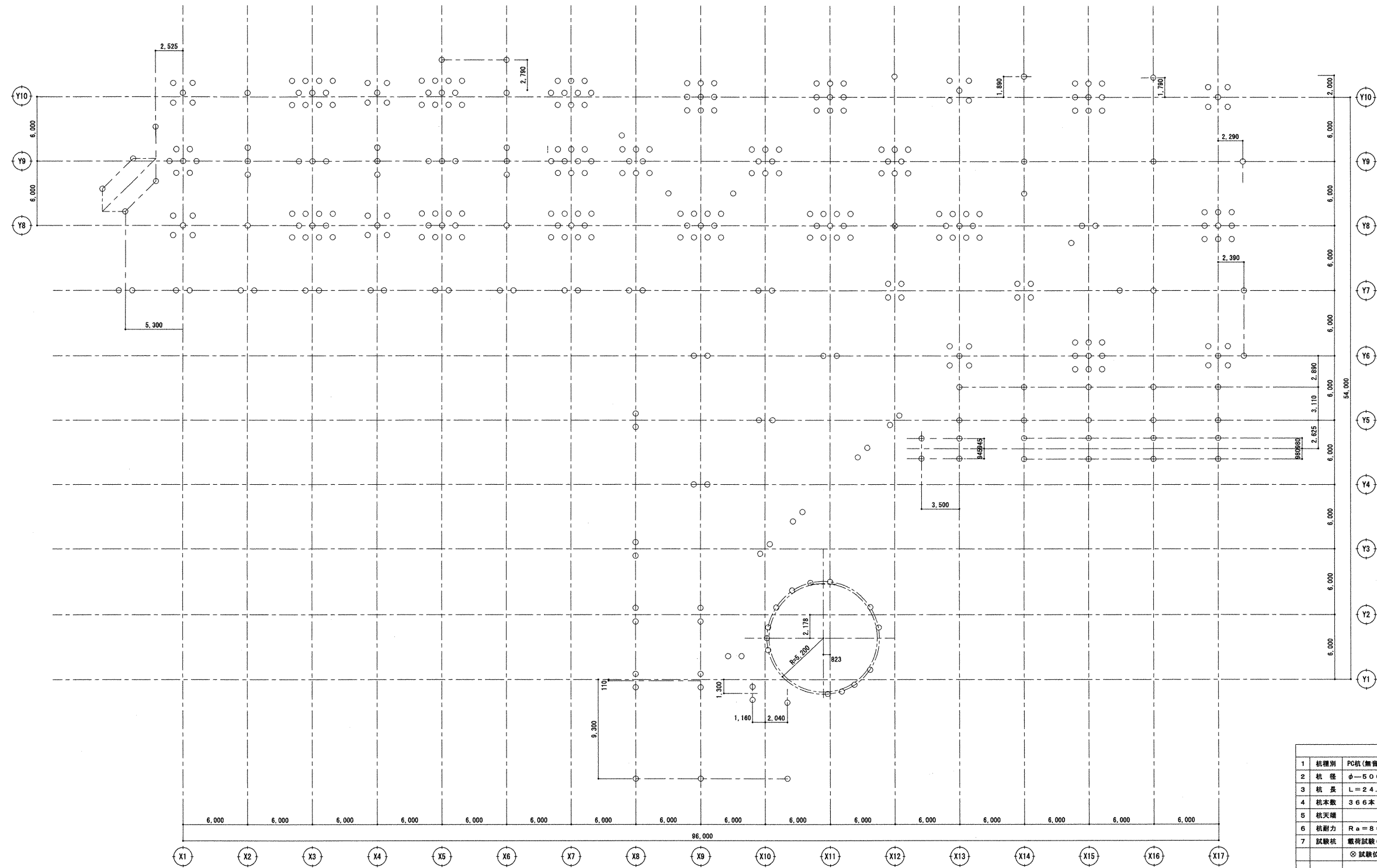
※註記  
 特記無き限り全て撤去すること

1	杭種別	PC杭(無音・無振動工法)上杭B種、下杭A種
2	杭径	φ-500×80
3	杭長	L=24.00(12.0+12.0)
4	杭本数	366本(試験杭含まず)
5	杭天端	
6	杭耐力	Ra=80t/本
7	試験杭	載荷試験(反力式により1ヶ所行う) ◎試験位置(本杭に含まず L=24.0)

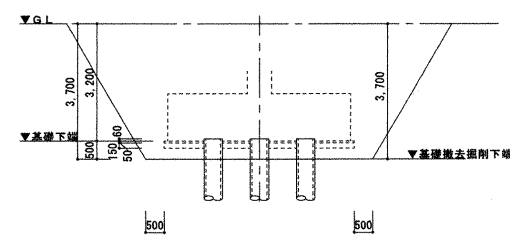
人権ふれあいセンター外解体工事				設計完了日	2013.3
杭伏図				工事発注日	
				SCサイズ	1/100-1/200
				原寸サイズ	A1
課長	課長補佐	保長	担当者	総括	担当者
原寸法					0 50 100 150

訂正前

S  
001



杭伏図 S=1:200



埋戻範囲図 S=1:100

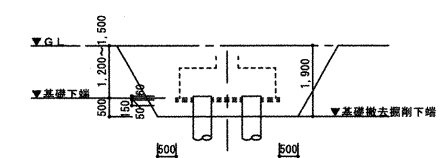
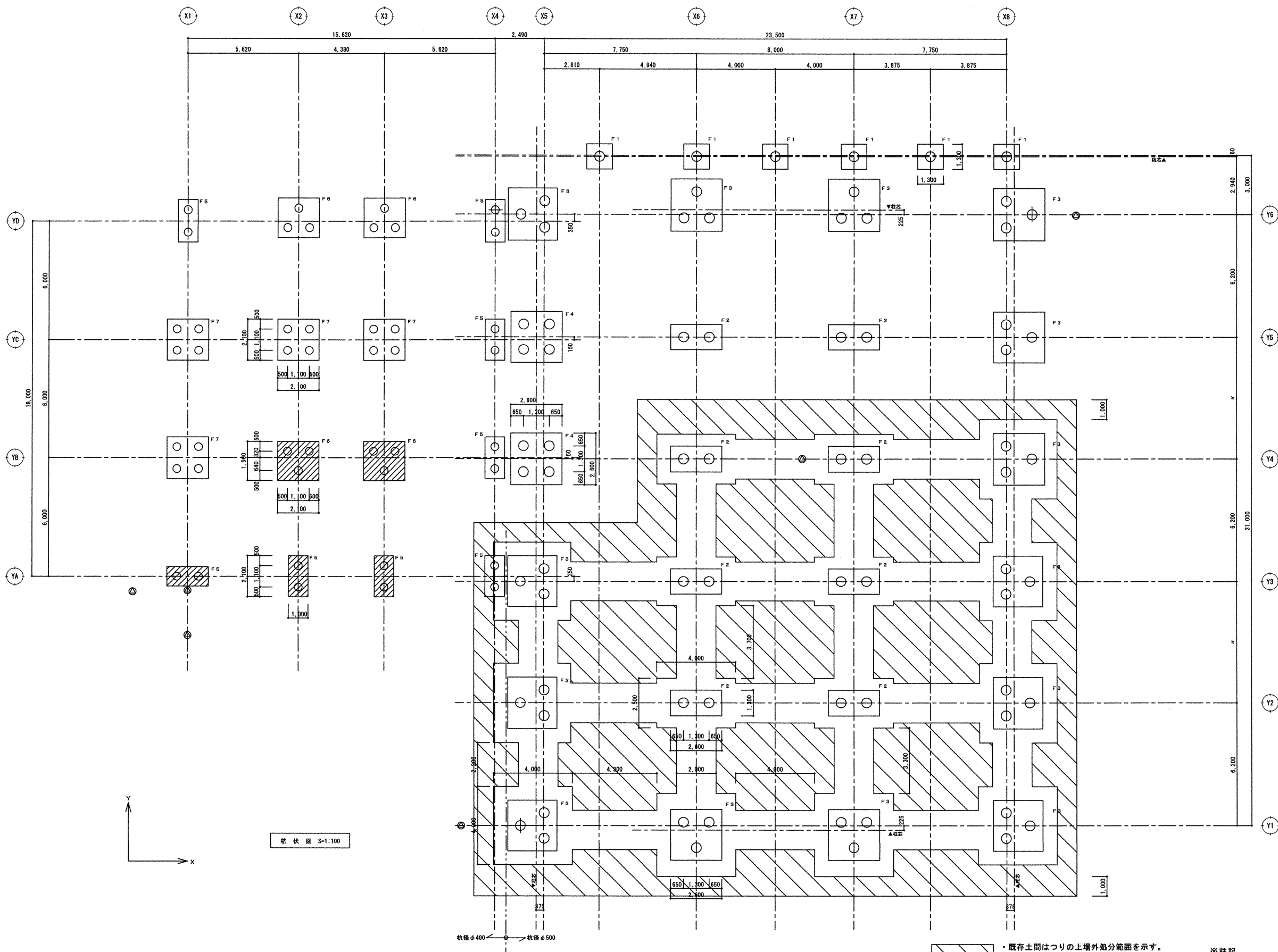
※既存杭については全て引抜き撤去とする。  
 ※引抜き後、埋戻しは全てソイルモルタルにて行う。  
 ソイルモルタルのセメント量は50kg/m<sup>3</sup>の強度とする。  
 ※施工については全て低振動・低騒音重機とする。  
 ※工法は引抜き工法とする。  
 ※ソイルモルタル埋め戻し範囲は杭先端より  
 GL-2100までとする。  
 ※杭頭がGL-2100以下となる杭については掘削下端  
 まで埋戻すものとする。

※註記  
 特記無き限り全て撤去すること

1	杭種別	PC杭(無音・無振動工法)上杭D種、下杭A種
2	杭径	φ-500×80
3	杭長	L=24.00(12.0+12.0)
4	杭本数	366本(試験杭含まず)
5	杭天端	
6	杭耐力	Ra=80t/本
7	試験杭	載荷試験(反力式により1ヶ所行う) ◎試験位置(本杭に含まず L=24.0)

人権ふれあいセンター外解体工事		設計完了日	2013.3
杭伏図		工事発注日	
		SCサイズ	1/100-1/200
		原寸紙サイズ	A1
課長	課長補佐	保長	担当者
東柳	藤田	藤田	藤田
東柳	藤田	藤田	藤田
原寸法		S 001	

訂正後



埋戻範囲図 S=1:100

※既存杭については全て引抜き撤去とする。  
 ※引抜き後、埋め戻しは全てソイルモルタルにて行う。  
 ソイルモルタルのセメント量は50kg/m<sup>3</sup>の強度とする。  
 ※施工については全て低振動・低騒音重機とする。  
 ※工法は「DCI杭引抜き工法」同等以上とする。  
 ※ソイルモルタル埋め戻し範囲は杭先端より  
 GL-2100までとする。  
 ※杭頭がGL-2100以下となる杭については掘削下端  
 まで埋め戻すものとする。

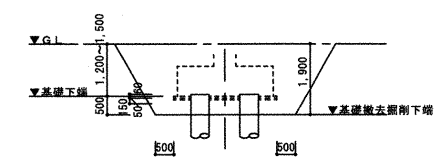
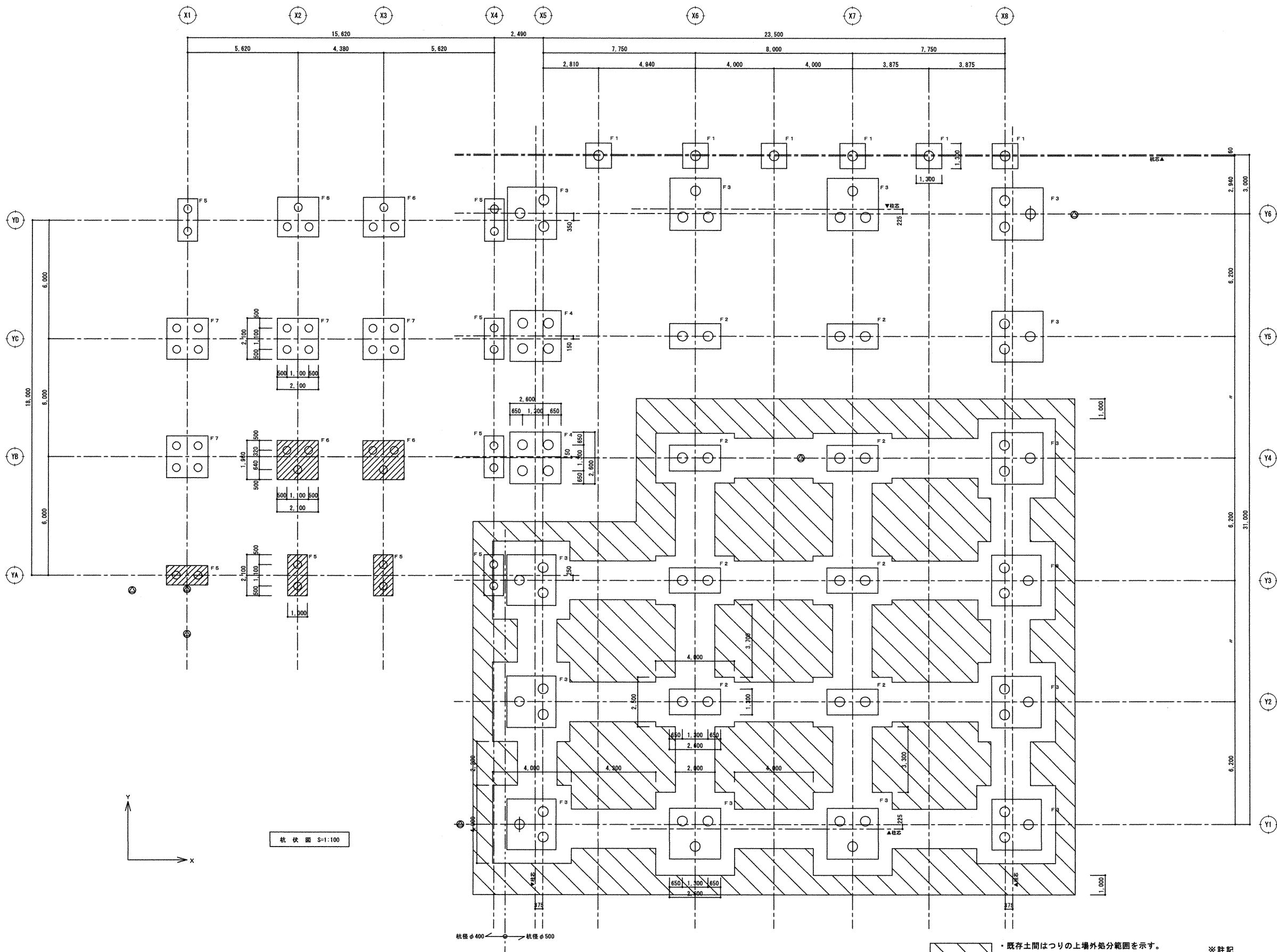
・既存土間はつりの上場外処分範囲を示す。  
 (土間仕様:コンクリート及モルタル平均厚150)

凡例		杭仕様		杭仕様			
		P.C. A種		基礎		杭セット数	
□	基礎底 GL-1.400	杭径	φ500	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数
□	基礎底 GL-1.100	杭径	φ400	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数
□	基礎底 GL-1.100	杭径	φ400	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数
○	試験杭位置ヲ示す。	杭長	11.0m 12.0m 11.0m 12.0m	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数
○	基礎下所ヲ示す。 掘削14 800φ	杭耐力	40.0 t/m 20.0 t/m	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数
○	基礎下所ヲ示す。 掘削14 500φ	杭本数	6本 3本 42本 2本	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数
		工法	アースオーガーヘッドノット セメントミルク注入掘削工法	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数
		試験杭	杭長 11.0m	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数
			最終10mタキコシ。 支持層及び支持耐力確認ノ事。	基礎	杭セット数	掘削数	杭本数

※註記  
 特記無き限り全て撤去すること

**訂正前**

人権ふれあいセンター外解体工事				図行完了日	2013.3
杭伏図 (ちぬが丘スポーツセンター)				工事発注日	
				SCサイズ	1/100
				原寸紙サイズ	A1
堺市 建築部 建築課		東郷 藤田建築設計共同体			
課長	課長補佐	係長	担当者	総括	担当者
原寸法				S	
				027	
				0 50 100 150	



埋戻し範囲図 S=1:100

※既存杭については全て引抜き撤去とする。  
 ※引抜き後、埋戻しは全てソイルモルタルにて行う。  
 ソイルモルタルのセメント量は50kg/m<sup>3</sup>の強度とする。  
 ※施工については全て低振動・低騒音重機とする。  
 ※工法は引き抜き工法とする。  
 ※ソイルモルタル埋戻し範囲は杭先端よりGL-2100までとする。  
 ※杭頭がGL-2100以下となる杭については掘削下端まで埋戻すものとする。

・既存土間はつりの上場外処分範囲を示す。  
 (土間仕様:コンクリート及モルタル平均厚150)

凡例	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様	仕様
□	基礎底 GL-L-1,400	杭仕様 P.C. A種	基礎本数	杭セット数	集約数	杭本数	鋼本数 φ500—72本 φ400—44本
■	基礎底 GL-L-1,100	仕様 径 φ500	基礎底	基礎底	基礎底	基礎底	( ) 内はφ400ツボス、 杭本数に試験杭ツボス。
⊕	試験杭位置ヲ示す。	仕様 長さ 11.0m 12.0m 11.0m 12.0m	基礎底	基礎底	基礎底	基礎底	
⊙	集約ツボス示す。 径φ14 800φ	仕様 杭断力 40.0t/m 20.0t/m	基礎底	基礎底	基礎底	基礎底	
⊙	集約ツボス示す。 径φ14 500φ	仕様 杭本数 6本 3本 42本 2本	基礎底	基礎底	基礎底	基礎底	
		仕様 工法 アースオーガーヘッドノイト セメントミルク注入範囲メ工法	基礎底	基礎底	基礎底	基礎底	
		仕様 試験杭 杭長 11.0m	基礎底	基礎底	基礎底	基礎底	
		仕様 最終10mタキコシ、支持層及び支持耐力確認ノ事。	基礎底	基礎底	基礎底	基礎底	

※註記  
 特記無き限り全て撤去すること

**訂正後**

人権ふれあいセンター外解体工事				設計完了日	2013.3
杭伏図(ちぬが丘スポーツセンター)				工事発注日	
				SCサイズ	1/100
				原寸紙サイズ	A1
堺市 建築都市局 建築部		東畑・藤田建築設計共同			
課長	課長補佐	係長	担当者	総括	担当者
				S	
				027	
原寸法 0 50 100 150					